



学校教育目標 ふるさと榛沢を愛し、自己の夢を掲げ、夢の実現に向けて努力する児童の育成
目指す児童像 進んで勉強する子 思いやりのある子 体をきたえる子

節分を迎えて

深谷市立榛沢小学校長 横田 茂男

2月は、旧暦名で如月(きさらぎ)です。如月の由来については諸説あります。寒さで着物を更にき重ねて着ることから、「着更着(きさらぎ)」という説が有力ですが、草木が生え始めるので「生更木」とする説もあるようです。今年の暖冬からは、「生更木」説に1票を投じたくになります。

さて、もうすぐ節分です。季節を分けるということで昔は4回ありましたが、今は冬と春を分ける立春の前日だけが残っています。ヒイラギいわしを飾ったり、恵方巻を食べたりする習慣がある地域があるなど、風習はそれぞれです。豆まきにしても、雪国では落花生をまいたりもするそうです。私の子供の頃の思い出ですが、家の中で豆まきをした後、父親と近くの氏神様まで豆まきに行ったことがありました。凍った雪の上を歩いた感触や美しく瞬いていた星たちのことを今でもよく覚えています。

行事の多くは簡素化されたり失われたりしてしまう傾向にあります。行事を行わなくても、明日は来ます。ですが、行事には行ってきた理由があり、子供たちに伝えていきたい行事もあります。特別な日ということで、気持ちを新たにすることもできます。今年はどうしようかと迷っているようでしたら、是非、子供たちに伝えていっていただければと思います。

1月の行事から

書きぞめ制作会



3年生以上は体育館で、1・2年生は教室でフェルトペンで書き上げました。心地よい緊張感が伝わってきました。各学年の題字は以下の通りです。

- 1年 お正月 2年 元気な子
- 3年 さくら 4年 えど川
- 5年 語り合い 6年 世界の友

また、3年生以上18名を決定し、深谷市書きぞめ展へ向けての練習会を実施しました。

給食ありがとう 集会



給食委員会が中心となり、調理員さん6名と吉田学校栄養士をお迎えして行いました。児童代表の感謝の言葉や花と作文をお渡ししました。

児童の振り返り(12月の学校評価)では、「給食は残さず食べます。」が、94.8%と7月よりも向上しています。栄養士さんは、「同じ食材でも、食感や味付けを工夫していますよ。」と話されていました。

かるた集会

運動会と同じ赤チームと白チームに分かれての対抗戦を行いました。全部で70試合が行われましたが、赤チーム31勝、白チーム39勝で、運動会に引き続き、白チームが勝利しました。

かるたには言語力や記憶力、反射神経を磨くなどの効用があると言われています。



琴の体験5年



はじめに、学校応援団4名が、息の合った模範演奏を聞かせてくださいました。その後、琴の演奏に合わせて、児童が「さくら さくら」を歌いました。後半は、爪をつけて演奏体験をしました。おぼつかない手つきではありましたが、ご指導のお陰で、きれいな音色を奏でることができました。4名の応援団の皆様、ありがとうございました。

